

科学研究費助成事業（若手研究（S））研究進捗評価

|       |  |                 |                              |
|-------|--|-----------------|------------------------------|
| 課題番号  | 20672001                                 | 研究期間            | 平成20年度～平成24年度                |
| 研究課題名 | ユダヤ教の人間観－マイノリティに関するテキストのデータベース化と現代社会への提言 | 研究代表者<br>(所属・職) | 勝又 直也（京都大学・大学院人間・環境学研究科・准教授） |

【平成23年度 研究進捗評価結果】

| 評価  | 評価基準   |
|-----|--|
| A+  | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる                 |
| A   | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる            |
| ○ B | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である                 |
| C   | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |

(意見等)

5年の研究期間のうち3年が経過したが、「研究計画調書」にあるIa（1.5年の予定）を達成した段階である。よって本研究の最も魅力的な研究課題である、Iの「ユダヤ教のなかのマイノリティ」という視点とIIの「マイノリティとしてのユダヤ人」という研究視角とがどのように内的に連関するのかについて示唆ないし、方向性が未だ見られない。HPも未整備である。

海外の研究者との共同研究、海外への研究成果の発信には一定の蓄積が認められるので、残りの2年で当初の研究目標を粛々と達成するよう努力すればかなりの成果が見込まれる。

【平成25年度 検証結果】

|      |   |
|------|---|
| 検証結果 | 平成23年度の研究進捗評価時点より、海外の研究者との共同研究、海外への研究成果の発信には、かなり努力したことが認められる。しかし、以下の点で大きな問題が残る。   |
| B    | <p>① Iの目的であるテキストのデータベース(DB)などの公開が遅れており、DBの作成状況や質・量などを検証することができない。唯一、公開されている文献DBも不十分である。</p> <p>② ホームページもいまだ未整備のままで、平成23年度の評価時点から何ら発展がみられない。</p> <p>③ 5年間の成果として、雑誌論文9件（共著7件、単著2件）、図書4件（共著3件、単著1件）は少なすぎる。また日本国内向けに発表された成果も乏しい。唯一の単著も基盤研究（S）に採択される前の研究をまとめたものである。</p> <p>④ 研究課題の「現代社会への提言」も、いまだなされているとは言えない。これらのことから、基盤研究（S）としては、いまだ十分な研究ができているとは言えない。</p> |